

災害に強い  
ネットワークを目標として  
—東日本大震災から得た更なる課題—

講演

NTTサービスインテグレーション基盤研究所長

黒川 章



東日本大震災は、日本の通信インフラに過去にない規模の被害を与えた。NTTグループは、過去の災害も踏まえ、災害に強いネットワークに向け取り組んできたが、今回の東日本大震災では、携帯電話等の輻輳や津波による局舎破壊、停電によるサービス停止なども起きてしまった。東日本大震災から得た課題に対する取り組みを紹介する。また、震災復旧において、ICTの果たした役割、今後の方向性について紹介する。

日時

2011年10月20日(木) 13:30~15:00

会場

名古屋大学IB電子情報館 中棟 012講義室

主催／名古屋大学大学院情報科学研究科

共催／名古屋大学・NTT・NTT西日本連携協議会

問合せ先／情報科学研究科 広報涉外委員会 担当庶務掛  
[gsis@is.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsis@is.nagoya-u.ac.jp)

※学外から参加される場合は、[gsis@is.nagoya-u.ac.jp](mailto:gsis@is.nagoya-u.ac.jp)まで  
メールでお申し込みください。